

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 2 部門第 5 区分
【発行日】平成30年4月12日 (2018.4.12)

【公開番号】特開2016-215867(P2016-215867A)
【公開日】平成28年12月22日 (2016.12.22)
【年通号数】公開・登録公報2016-069
【出願番号】特願2015-103802(P2015-103802)
【国際特許分類】

B 6 2 K 21/04 (2006.01)

【 F I 】

B 6 2 K 21/04

【手続補正書】

【提出日】平成30年2月28日 (2018.2.28)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 4

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 0 4 】

【特許文献 1】特開 2 0 0 8 - 2 8 5 0 5 0 号公報

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 3 5

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 3 5 】

図 8 (b)、図 9 (b) に示すように、厚肉部 2 7 は、ステアリングシャフトボス部 2 1 から板状部 3 1 の前端に亘って形成される。更に、厚肉部 2 7 は、フォークブラケット 3 0 の前端側において、左右方向における中央部から一対のフォーククランプ部 2 3 に亘って形成される。すなわち、厚肉部 2 7 は、底面視で見て略 T 字状に形成される。厚肉部 2 7 は、左右方向における中央部からそれぞれ一対のフォーククランプ部 2 3 に向かって厚みが漸減する。

また、図 8 (b)、図 9 (b) に示すように、薄肉部 2 8 は、フォークブラケット 3 0 の後端側において、ステアリングシャフトボス部 2 1 の左右両側に形成される。薄肉部 2 8 は、左右方向における中央側からそれぞれ一対のフォーククランプ部 2 3 に向かって厚みが漸減する。